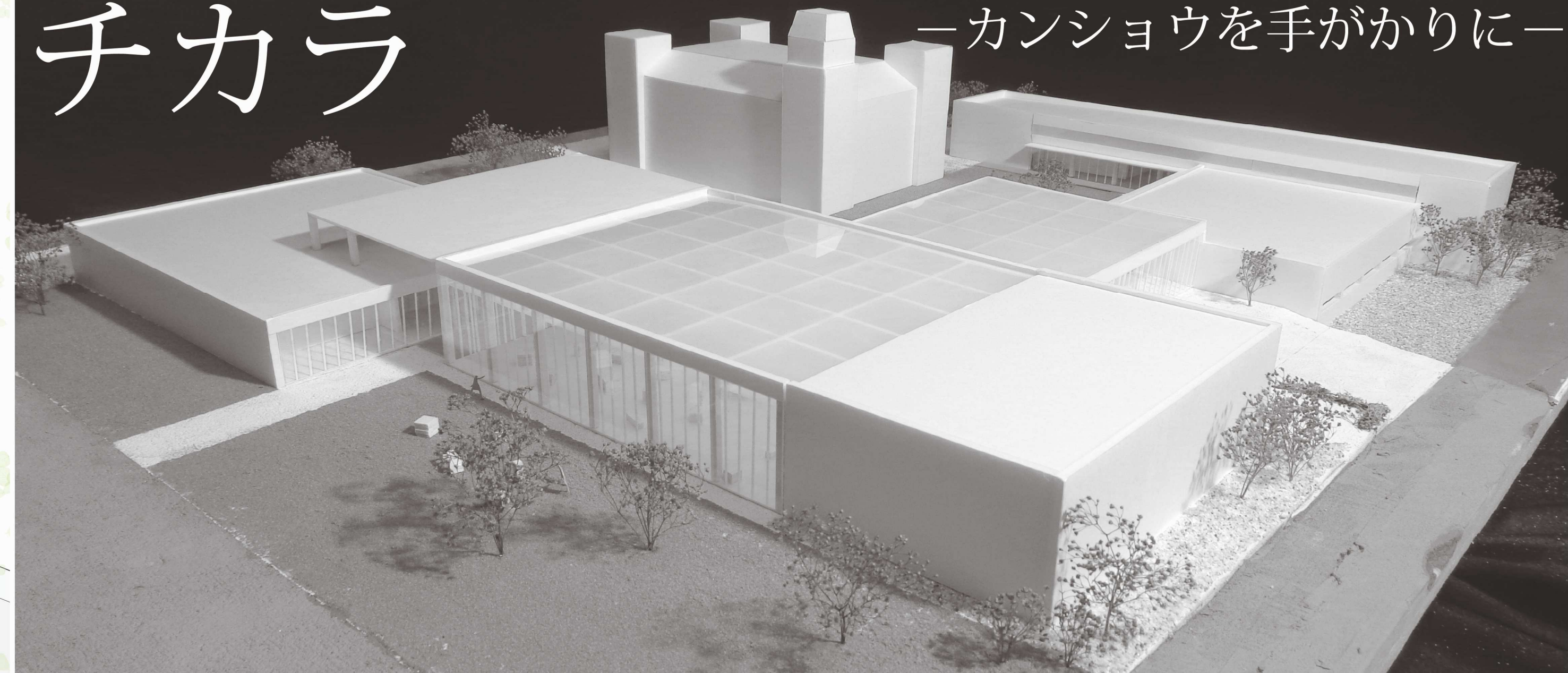
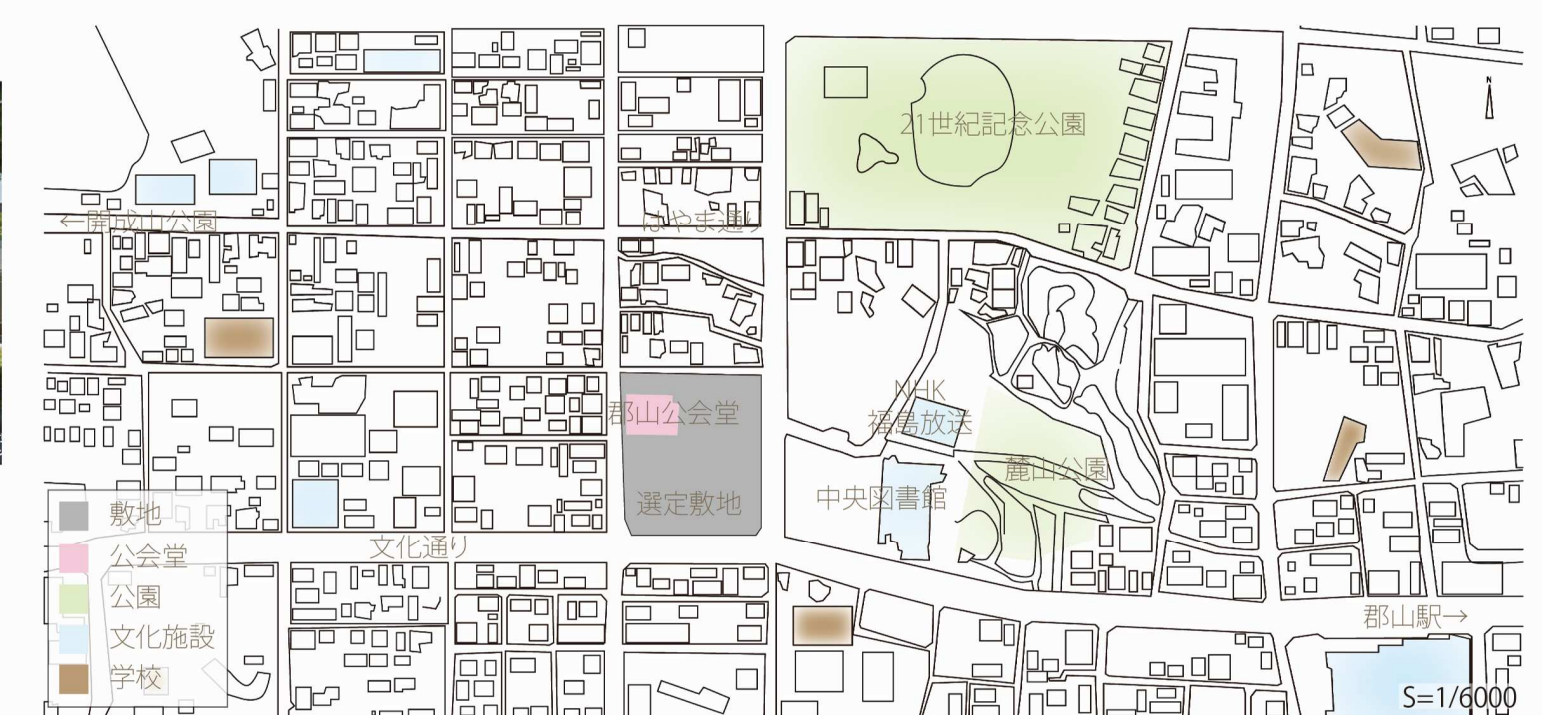


建築のチカラ

ーカンショウを手がかりにー



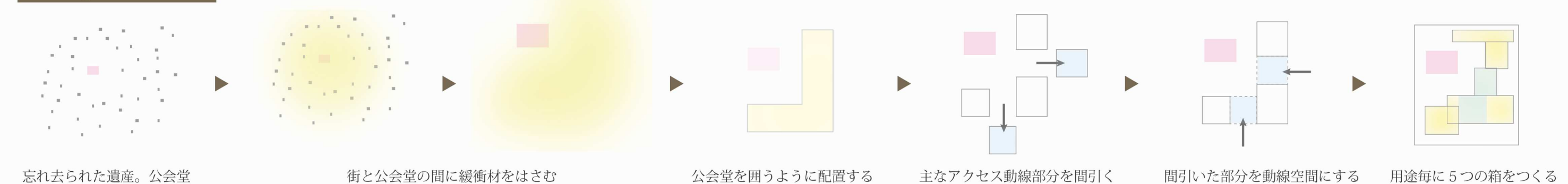
■Site/Concept



人々の日常生活の中に、忘れ去られた遺産との歴史のギャップを緩やかに解消する、市民の庭を提案します。現代における建築とは何なのか？今回私は敷地内にある 90 年前に建てられ

た造形的な公会堂に対して、プログラムやカンショウ体験、そこでの物語が敷地内から敷地外、街に連続していくような、現代における、建築のチカラについて考えました。

■Diagram



■Story

ここで生まれる様々な物語の一コマを切り取った。5つの箱によって変わる室内空間と、敷地の至る所から見え隠れする公会堂。



①市立図書館から新図書館へ



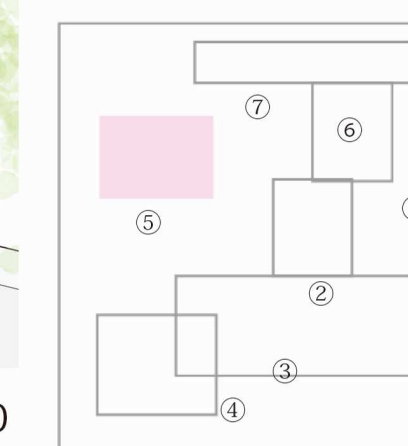
③屋外まで連続する展示物



②まるで外のような展示空間



美術館



⑥気持ちよく伸びる梁の下の読書



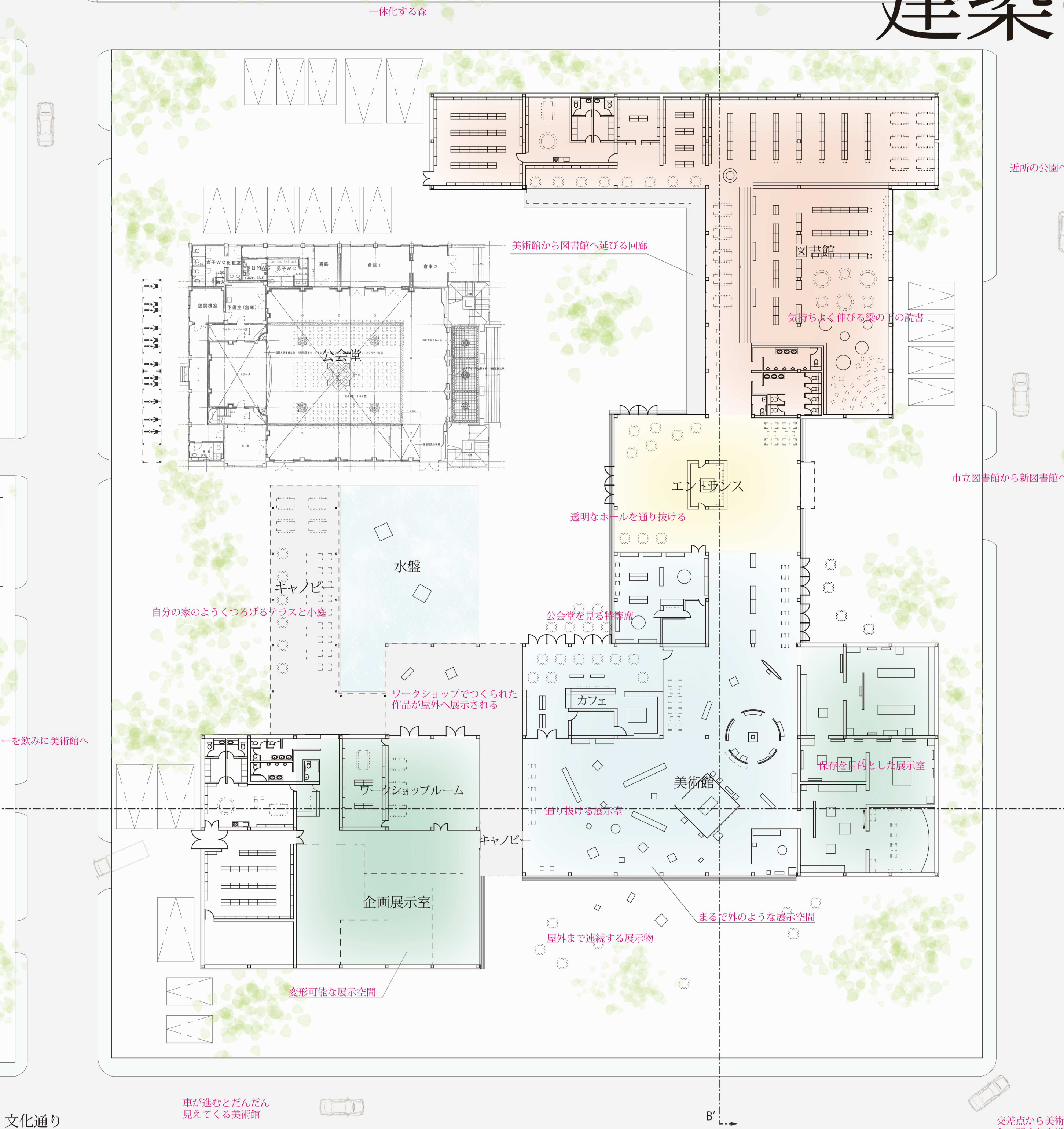
④限られた抜け道キャンピー



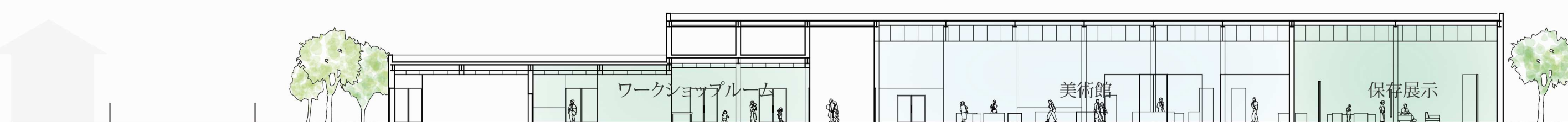
⑤夜に浮き上がる美術館



⑦美術館から図書館へ延びる回廊



plan S = 1/3 0 0



section A-A' S = 1/3 0 0



section B-B' S = 1/3 0 0

